



審判(副)委員長  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_



## 戦評用紙

種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

特設Aコート 第 **7** 試合

1回戦(第 試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第2試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	23	—	25	}	1 名古屋市 都道府県、指定都市名
<b>岡山県</b> 2 都道府県、指定都市名		25	—	23		
		25	—	19		

【審判員】

主 審： 高鳥 雅央(福井県) 副 審： 内藤 和志(福井県)

記録員： 東山 裕紀(福井県) A・S： 宮川 晴加(福井県)

【戦 評】

記載者： 中村 洋太

.....第1セット、序盤から拮抗する展開の中、名古屋市が4番恒川のサービスエースにより流れ  
 .....をつかみリードする。中盤に差し掛かり岡山県も1番木下の強烈なスパイクで流れを引きこ  
 .....む。名古屋市も7番鈴村の好レシーブ、3番整名の冴えるトスワークで対抗する。終盤、岡山  
 .....県も3番阿邊のブロックやスパイクで猛追したが、名古屋市が粘り第1セットを取った。続く  
 .....第2セット、名古屋市は第1セットの勢いそのままに6番黒野がコースをつくスパイクなど  
 .....で獅子奮迅の活躍を見せ先行した。対する岡山県も1番木下のブロックポイントを皮切りに連  
 .....続得点し追い上げる。さらに岡山県は途中交代で入った3番阿邊の巧みなスパイクにより点  
 .....を重ね、第2セットを取り返した。最終セット、名古屋市4番恒川のサーブが走り一気に6点  
 .....差まで広げる。岡山県も中盤、3番阿邊、1番木下のサーブで追撃し、ミスの少ないプレーを  
 .....展開し逆転に成功した。最後まで丁寧にボールを繋いだ岡山県が激闘を制した。